

館内イベント 2010年度

平和祈念展示資料館

2010年度

2011年3月30日	春休み特別企画 アニメ「蒼い記憶-満蒙開拓と少年たち」 好評につき4月3日（日）まで延長決定!!
2011年3月17日	アニメ「蒼い祖国-満蒙開拓と少年たち」上映会開催 今年の春休みは、ご家族みんなで平和について考えることができるアニメ作品を特別に上映します。
2011年3月4日	特別企画展「なつかしの『祖国』へー海外引揚者にみる家族の肖像ー」 3月9日（水）、3月23日（水）ギャラリートーク開催
2011年2月21日	漫画家・森田拳次さん トーク&サイン会開催 「丸出だめ夫」などのヒット作をもつ漫画家・森田拳次さんが来館されます。 ご自身の引揚体験や作品への想いをトークショーで語っていただきます。 3月12日（土）午後2時～ 平和祈念展示資料館 ビデオシアター
2011年2月4日	語り部さんのお話イベント開催！ 労苦体験者が来館します。戦時を生き抜いた生の声を聞くことができます。 2月12日（土）午後2時～ 成田富男さん（戦後強制抑留体験者） 2月26日（土）午後2時～ 鈴木忠典さん（兵士体験者）
2011年1月28日	語り部さんのお話イベント開催！ 労苦体験者が来館します。戦時を生き抜いた生の声を聞くことができます。 2月1日（火）午前11時～ 鈴木忠典さん（兵士体験者） 2月2日（水）午前11時～ 猪熊得郎さん（戦後強制抑留体験者） 2月3日（木）午後2時45分～ 岡上生二さん（戦後強制抑留体験者） 会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター
2011年1月14日	語り部さん来館！ 満州・奉天に生まれた手塚元彦さんが来館します。終戦直後、民間人だった父親がソ連軍によってシベリアへ抑留、母親は心労が重なり病死してしまう。昭和21年9月、12歳の少年ながら妹2人を守りながら帰国を果たした手塚さんが、その貴重な引揚体験を語ります。 1月22日（土）午後2時～ 平和祈念展示資料館 ビデオシアター
2010年12月27日	ギャラリートーク開催！ 企画展『いざ戦地へ-出征者と家族の想い』にて、当館学芸員が展示の解説をします。ご参加ください。 1月9日（日）・23日（日）各日午後2時30分～ 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー
2010年12月24日	語り部さん来館！ 15歳で特別幹部候補生に志願して入隊された猪熊得郎さん。満州で終戦を迎え、シベリアに強制抑留された貴重な体験を語ります。 1月8日（土）午後2時～ 平和祈念展示資料館 ビデオシアター
2010年11月24日	見学企画・団体予約をファックスで受け付けられるようになりました。 平和祈念展示資料館では、解説員による展示解説の予約を承っております。 「語り部」による戦争体験の労苦を聞く会の実施など、ご希望に応じます。ご相談ください。予約はファックス、電話にて受付けております。 ※「語り部」のご希望は10名以上でお申込みください。
2010年10月5日	『高校生平和祈念ビデオコンクール2010』参加者募集のお知らせ 次代を担う高校生に、先の大戦における労苦を知り、平和について自ら考え表現してもらうことを目的とした『平和祈念ビデオ制作コンクール』を実施しています。

団体見学案内

平和祈念展示資料館では、パネルや映像により各自で自由に見学ができるほか、解説員による展示解説や、語り部お話し会など、より充実した見学にするためのプログラムも用意しています。
滞在予定時間にあわせてご検討ください。

予約方法

予約は、FAXにてお申込みください。

1. 下の「団体見学申込書」をクリックしてダウンロードしてください。
2. 必要事項を記入のうえ、下記まで送信してください。

▶ 団体見学申込書をダウンロードする

記入例はこちら

FAX:03-5323-8714

FAXが利用できない場合は、電話・メールでも受付けています。
団体見学の予約担当あてに、下記の項目をお伝えください。

- 団体名
- 代表者氏名
- 希望日時
- 人数
- 連絡先
- 解説希望の有無

TEL:03-5323-8709

E-mail: dantai@heiwakinen.jp

※予約される場合は、見学ご希望日の1週間前までにお申込みください。
予約状況により、ご希望に沿いかねる場合もありますので、ご了承ください。

団体向けプログラム

常設展示の展示解説(30分～90分程度)

当資料館では、展示をより理解してもらうために、解説員による展示解説を実施しています。

滞在予定時間や、目的にあわせて時間を構成することができます。

ご希望の場合は、事前にお申込みいただくか、受付にお知らせください。

※要望に応えられない場合がありますので、ご了承ください。



語り部お話し会(60分程度)

当資料館では、語り部を通して、さきの大戦における体験者の労苦を伝える機会として、毎月第3日曜日に「語り部お話し会」を実施しているほか、団体見学にも対応しています。

ご希望の場合は事前にお申込みください。

※10名以上の団体が対象です。

要望に応えられない場合がありますので、ご了承ください。



大型バスの利用について

大型バスの駐車は、東京都庁大型車駐車場の利用が便利です。

- 駐車場についてはこちら

語り部さん来館！

満州・奉天に生まれた手塚元彦さんが来館します。終戦直後、民間人だった父親がソ連軍によってシベリアへ抑留、母親は心労が重なり病死してしまう。昭和21年9月、12歳の少年ながら妹2人を守りながら帰国を果たした手塚さんが、その貴重な引揚体験を語ります。

1月22日（土）午後2時～ 平和祈念展示資料館 ビデオシアター

丸出だめ夫の生みの親が来館

ご自身も満州（現・中国東北部）からの引揚げ体験者であり、当資料館で無料配布している『満州からの引揚げ遥かなる紅い夕陽』の作画を担当されている漫画家・森田拳次さんのトーク&サイン会を開催します。トークセッションでは、当資料館所蔵作品にまつわる思い出話などを語っていただく予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

■平成23年3月12日（土）午後2時

平和祈念展示資料館 ビデオシアター 定員40名

当日は先着順で受け付けます。直接会場へお越しください。



ぼくらのあこがれ、特急「あじあ号」



夏の風物詩 まくわうり

森田拳次（もりた・けんじ）

昭和14（1939）年、東京生まれ。生後3か月で旧満州に渡る。引揚げ後、17歳で単行本を発表し、漫画家デビュー。以後、『丸出だめ夫』『ロボタン』などのギャグ漫画が大ヒットし、いずれもTV化される。31歳の時、ひとコマ漫画家を志し、武者修行のためニューヨークへ。文化庁メディア芸術祭・特別賞など国内外での受賞暦多数。



森田拳次

「遥かなる紅い夕陽」

お問い合わせ

info@heiwakinen.jp

アニメ「蒼い祖国-満蒙開拓と少年たち」上映会開催



春休み特別企画開催

平和祈念展示資料館 ビデオシアター

今年の春休みは、ご家族みんなで平和について考えることができるアニメ作品を特別に上映します。満州やモンゴルで、ソ連（現ロシア）との国境警備にあたった14～15歳の子供たちを通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、友情の大切さを教えてくれる作品です。ご家族そろってお越しください。

■開催日時

平成23年3月29日（火）～31日（木）

好評につき4月3日（日）まで延長決定!!

午前10時30分～午前12時 / 午後1時30分～午後3時

■場所

あらすじ

希望の大地へと渡った満蒙開拓青少年義勇軍。少年たちを待っていたのは極寒の地での過酷な生活、そして敗戦を機に始まったソ連軍からの逃避行と混乱。数々の悲劇を生んだ満蒙開拓青少年義勇軍の真実を友情で結ばれた2人の少年の目を通して描く。

たくさんのご来館、ありがとうございました。